

全弓連発第 6-17 号  
令和 6 年 5 月 10 日

地連会長 各位

公益財団法人 全日本弓道連盟  
会 長 加 藤 出  
(公印省略)

大日本弓道會の設立に関する注意喚起（お知らせ）

標題のこと、本連盟では、米国の弓道関係者が令和 6 年 2 月 21 日付で大日本弓道會という名称の一般社団法人の設立登記を行ったとの情報を得ましたので、添付にてご報告するとともに注意喚起をさせていただきます。

貴地連所属の会員各位にもご周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

<添付>

・【会員の皆様へ】大日本弓道會会の設立に関する注意喚起

以上

本件の事務担当

公益財団法人全日本弓道連盟事務局

TEL : 03-6447-2980

FAX : 03-6447-2981

E-mail : kanri3@kyudo.jp

会員各位

全弓連では、米国の弓道関係者が令和6年2月21日付で大日本弓道會という名称の一般社団法人の設立登記を行ったとの情報を得ましたので、ここに会員各位にご報告するとともに注意喚起をさせていただきます。

なお、過去に存在していた団体として、第二次世界大戦前に設立され戦後解散した財団法人大日本弓道会の存在が確認されておりますが、名称は類似するものの、両者の間に歴史的な関連性等はなく、理念や思想を異にする全く別の団体であることが確認されております。にもかかわらず、大日本弓道會の代表者であるサバスティアン氏は、自らの団体が同団体の復活したものであるかのように喧伝しています。

また、サバスティアン氏は、インターネットなどに、当連盟の活動等に対する批判的な投稿等を行うとともに、当連盟や国際弓道連盟に代わる新たな弓道団体の設立に向けて、日本国内や世界各国の弓道関係者に対して、同団体への加入を呼びかける内容のメールを送信しているほか、同団体独自の指導を実施して独自の段位を授与するなどして活動しております。当連盟の称号者の中にも、サバスティアン氏の懇請を受けて、この指導に協力した者がいるとの情報もあります。

当連盟では、同団体によるこのような当連盟及び国際弓道連盟に対する敵対行為は、当連盟の称号・段級位受有者の権威や技術を潜脱しようとするものであり、当連盟及び国際弓道連盟の弓道普及活動全体に対する妨害的な行為であると考え、これに対し、国際弓道連盟とも連携して毅然とした対応を取るべく、検討と準備を行っているところであります。

以上のような次第ですので、会員の皆様におかれましても、このような同団体の妨害的・敵対的な行為に協力しないようご注意くださいとともに、同団体から接触を受けるなどした場合には、これに関する情報を当連盟までお知らせいただきますようお願い申し上げます。

令和6年5月

公益財団法人 全日本弓道連盟  
会 長 加 藤 出